

特集 コロナに負けず、“いま”できる活動を！

福井県手話通訳問題研究会～オンラインで人とのつながりを～

福井県手話通訳問題研究会（福通研）は、聞こえない、聞こえにくい方々の福祉と手話通訳者の地位向上を目指し、当事者と共に住み慣れた街の福祉向上のための活動を行っている団体です。会員の前田健吾さんが、2020年2月に富山県で行われた、全国から若者の会員が集まる合宿に参加したことをきっかけに、他県の会員と「県をまたいで何かしたいね」と話していたところ、新型コロナウイルスの感染が全国的に拡大。「それなら、オンラインで何かできるんじゃない？」と考え、全国の仲間と一緒にオンラインでも楽しめる「シュワードゲーム」を考案しました。



▲Zoomでつながったオンライン手話サークル

9月10日には、長野大学の手話サークルと、前田さんが呼び掛けた福井県内の手話サークルのメンバーと、ビデオ通話アプリZoomを活用したオンライン手話サークルを開催。初めてオンラインで「シュワードゲーム」を実践しました。参加者の皆さんは「ゲーム感覚で、手話のハードルが低くなった」「他県の大学サークルと交流するのは初めて。どこにいても、気軽につながることは嬉しい」と、オンラインでの交流を楽しんでいました。

前田さんは、「コロナ禍の今だからこそ、オンラインで、気楽に県を超えて交流することができる。初めて会う相手とも、画面を通してすぐに仲良くなれるのが、オンラインの大きな魅力。今後も、シュワードゲームやオンラインなどのツールを活用しながら、人とのつながりを広げていきたい」と、熱く語ってくれました。

／ 伝えて！

シュワード

あ 野菜	い にんじん	う りんご	え みかん	お スパゲッティ
か カレー	き ラーメン	く 寿司	け たこ焼き	こ チョコ
な メロン	ち コーヒー	つ スティッチ	て もも	と 焼肉
は 焼きそば	ひ パン	ふ スイカ	へ じゃがいも	ほ いちご
や アイス	ゆ ぶどう	よ パナナ	わ きゅうり	ん そば

① ② ③ ④ ⑤

どんなゲーム？

- ①出題者が手話やジェスチャーで表の中にある単語を表現します。
- ②回答者は、出題者が表現した単語の横にある平仮名を順番に表の下部に記入していきます。
- ③最後に平仮名をつなげると、何かの言葉になります。



笛吹きクローバー～特技を生かして楽しい時間を届ける～

笛吹きクローバーは、同じオカリナ教室で知り合い、ボランティア活動をしていたメンバーが音楽仲間として声をかけ、2019年8月に結成しました。4人のメンバーで福祉施設等を訪問し、オカリナ、篠笛やギターなどの演奏を披露したり、曲の合間には脳トレやマジックなど、メンバーが持っている他の特技も生かしたりと、参加者に楽しんでもらえるよう工夫しながら活動しています。



▲4人での練習の様子

今年度からは、当センターの特技・技能ボランティアにも登録し、さらに活動を広げていこうとしていた矢先、新型コロナウイルスの感染が拡大し、練習や披露の場が限られてしまいました。そのような中でも、パソコンで音源や楽譜を起し、それをLINEでメンバーと共有するなど、集まれなくても個人で練習を重ね、一人ひとりができることを行ってきました。代表の滝本律子さんは、「7月に再開した自治会型デイホームへ演奏に訪ねると、参加者の皆さんは久々の機会をととても楽しみに待っていてくださり、演奏する側もさらに気持ちがこもった。今後はレパートリーを増やしながら、さまざまな場所で活動できるようにしたい」と語ってくださいました。